

## ⑨ みやぞの野鳥の池、坂川、熊野神社周辺の森



みやぞの野鳥の池は野鳥観察を通じて市民が安らぎを覚える“水と緑の空間”の創造を基本理念とし、自然環境に配慮した整備が行われています。近年では希少種であるガガブタが調整池内に生息する生物により食害を受けている。坂川は1955年代後半から都市化に伴い汚染が進んだが、1994年には国、県、市、市民による水質改善事業「清流ルネッサンス」の取組に着手し、現在はきれいな川がよみがえった。熊野神社周辺の森は東葛地方には珍しい極相林を有している森。

環境タイプ

森林 草地 池 湿地

(地権)

- ・みやぞの野鳥の池⇒公有地
- ・坂川⇒公有地
- ・熊野神社周辺⇒民有地

(所管)

- ・みやぞの野鳥の池⇒流山市役所下水道建設課
- ・坂川⇒国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所
- ・熊野神社周辺⇒民有地

(市民的視点)

・みやぞの野鳥の池

柵があり敷地内には出入り出来ないが、周辺にベンチが設置されていることや、水辺に生息する鳥を観察出来るような環境づくりがされている。

・坂川

草刈りが実施されていて、植物の生息があまり見受けられないが、川沿いは散歩が出来るような道が舗装されているため、多く人が通行をしている。

・熊野神社周辺

熊野神社に続く道沿いは緑が豊かである。しかし、熊野神社周辺は、民有地であるため敷地に立ち入りは難しい。

(評価結果)

・みやぞの野鳥の池 【◎】

基本理念に野鳥観察を重視する旨が含まれているため、野鳥の生息や繁殖を促進する環境づくりや保全活動が期待出来る。また、住宅街の中に位置しているため、生活圏の中にある自然環境として貴重である。

・坂川 【△】

江戸川河川事務所に対し、草刈りの時期、頻度、範囲についての協議をし、出来るだけ多様性を保全することは出来る。しかし、元々の多様性自体が貧相であるため、江戸川河川事務所が主体となって環境整備をする必要があると考えている。

・熊野神社周辺 【△】

思井の森や熊野神社周辺の森は多くが民有地であるため、積極的な保全活動は困難である。しかし、貴重な極相林であり、開発の際は可能な限り森を残していく方針が定められているため、環境整備という面ではなく、出来る限り維持をするという面からの保全に取り組んでいきたい。